

次の【資料1】、【資料2】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料1】

地球温暖化の原因と予測

地球温暖化の原因となっているガスには様々なものがあります。なかでも二酸化炭素はもっとも温暖化への影響度が大きいガスです。

産業革命以降、化石燃料の使用が増え、その結果、大気中の二酸化炭素の濃度も増加しています。

地球温暖化のメカニズム

現在、地球の平均気温は十四℃前後ですが、もし大気中に水蒸気、二酸化炭素、メタンなどの温室効果ガスがなければ、マイナス十九℃くらいになります。太陽から地球に降り注ぐ光は、地球の大気を素通りして地面を温め、その地表から放射される熱を温室効果ガスが吸収し大気を温めているからです。

近年、産業活動が活発になり、二酸化炭素、メタン、さらにはフロン類などの温室効果ガスが大量に排出されて大気中の濃度が高まり熱の吸収が増えた結果、気温が上昇し始めています。これが地球温暖化です。

上がり始めた気温

IPCC第六次評価報告書(二〇二一)によると、世界平均気温は工業化前と比べて、二〇二一〜二〇二〇で一・〇九℃上昇しています。

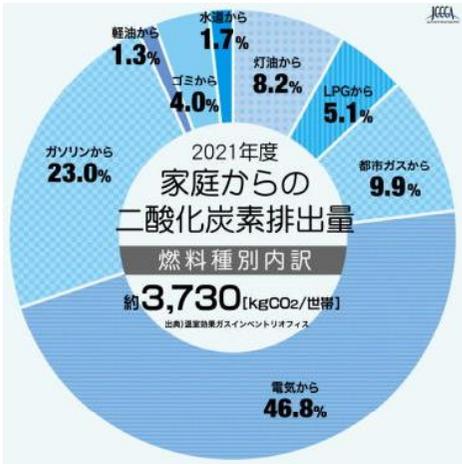
また、陸域では海面付近よりも一・四〜一・七倍の速度で気温が上昇し、北極圏では世界平均の約二倍の速度で気温が上昇するとしています。

特に最近三十年の各十年間の世界平均気温は、一八五〇年以降のどの一〇年間よりも高温となっています。中でも一九九八年は世界平均気温が最も高かった年でした。二〇一三年には二番目に高かった年を記録しています。

今後、温室効果ガス濃度がさらに上昇し続けると、今後気温はさらに上昇すると予測されています。IPCC第六次評価報告書によると、今世紀末までに三・三〜五・七℃の上昇(SSPD、八・五)と予測されています。

出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>)

【資料2】



出典…全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jeccca.org/>)

問一 【資料1】と【資料2】を手がかりにして、地球温暖化問題について考えられることを書くことになりました。そのために必要となる情報を【資料1】【資料2】から、それぞれ書きなさい。

〈【資料1】から〉

〈【資料2】から〉



問一 《解答例》

〈【資料1】から〉

- ・ 二酸化炭素はもともと温暖化への影響度が大きいガスである。
- ・ 地球温暖化とは、温室効果ガスが大量に排出され、大気中の濃度が高まり、熱の吸収が増えた結果、気温が上昇し始めたこと。
- ・ 世界平均気温は工業化前と比べて、2011～2020で1.09℃上昇している。 等

〈【資料2】から〉

- ・ 家庭からの二酸化炭素排出量は、電気の影響が最も大きい。
- ・ 次いで、ガソリン（自動車の利用）、ガスの影響が大きくなっている。

問二 《解答例》 200字

地球温暖化は、温室効果ガスである二酸化炭素やフロンなどが原因だ。特に、二酸化炭素は温暖化への影響が最も大きい。産業革命後、化石燃料の消費により、二酸化炭素が増加し、比例して地球の平均気温が上昇している。

私にできる温暖化対策は節電だ。家庭からの二酸化炭素排出量の約半分が電気によるものだからだ。こまめに電気を消したり、冷蔵庫を開けっぱなしにしないようにしたりと、対策をしつかりとやっていきたい。